

## 所蔵資料紹介

# 蜂須賀家の書画

徳島県立文書館

今回の展示は、企画展示の休み期間を利用して、本館所蔵品の一部である蜂須賀家文書（徳島旧藩主の資料）の書画を紹介するものです。

開館記念展『徳島県の成立』は、約2万人の来館者を迎え、平成3年4月10日に無事終了することができました。

次回の企画展『蜂須賀家家臣・渡辺家資料展』は、平成3年5月3日～8月31日の期間で開催いたしますので、ぜひ御来館下さい。



- ☆ 蜂須賀茂韶（もちあき）徳島藩最後の藩主。誠堂の雅号を持つ。  
大正7年、72才で没す。
- ☆ 蜂須賀随子（よりこ） 将軍・徳川斉昭（なりあき）の孫。慶篤の娘。  
茂韶の妻。正韶の母。大正12年、70才で没す。
- ☆ 蜂須賀筆子 徳川慶喜（よしのぶ）の娘。正韶の妻。明治40年、  
33才で没す。
- ☆ 野口小蘋（しょうひん）鴨島町出身。日本画家。書・漢学も学ぶ。  
華族女学校の教授。女性初の帝室技芸員。大正6年71  
才で没す。
- ☆ 『はちすのかをり』 蜂須賀筆子の歌集。序文は国学者・小杉椋邨（す  
ぎむら）。
- ☆ 『西行記』（さいぎょうき）歌人・西行の伝記を絵巻物にしたもの。  
本資料は昭和9年の複製品。

【 展 示 紹 介 】

壁面展示（左壁面奥より）

- 河辺菊 水のあやにおれる錦とまかふまで  
かはへのきくの影そいろこき (蜂須賀) 随子
- 難波江のあしはいまよりかりすてゝ  
よしをわけてや身をつくしてむ (蜂須賀) 筆子
- 楽志一家春 戊戌新正 (蜂須賀) 筆子
- 野外鶯 春の野のうめ咲かたはわかねとも  
にほいこもれるうくひすの声 (蜂須賀) 随子

壁面展示（右壁面奥より）

- 新年山 皇国の光をみせてあら玉の  
としの朝日の昇るやまかな (蜂須賀) 茂詔
- 雪中鶴 毛衣もうもるゝはかり降雪を  
よそにはくゝむ鶴の巢籠 (蜂須賀) 茂詔
- 陽春布徳澤 明治十四年元旦 源茂詔試毫
- 萬物生光輝 明治四十二年一月一日 誠堂試毫
- 夏雨新晴（席画） 野口小蘋

展示ケース（1） 歌集『はちすのかをり』（刊本および原稿本）  
菊石の硯（蜂須賀家伝来の硯）

展示ケース（2） 『西行記』（蜂須賀家の所蔵品）

展示ケース（3・4） 蜂須賀家の印譜（蜂須賀家代々の人が使用した印譜）